



発行所

京都市左京区
吉田神楽岡町3

世界救世教黎明教会

郵便番号606-8311
電話075(771)2322番

新文明創造へ真の宗教を

三大迷

各面の内容

- 1〜3面 初代会長先生 御教えの研鑽
- 3面 地上天国祭
- 4〜5面 お蔭ご奉告 山田弘美様
- 5面 夏期学生録成会
- 6面 講義ノート 津田傑介様
- 7面 お蔭ご奉告 大谷太紀様
- 8面 れいめい俳壇

本教の目的とする處は、新しい文明の創造である事は、いつもいう通りであるが、第三者が之を見たら、一寸不思議に思うであろう。何となれば、現在野蛮時代ではあるまいし、今更新しく文明の創造などとは、少しどうかしているのではないかと思ふかも知れないが、決してそうでない事は、一通り此文を読んでみれば成程と背くであろう。

明主様の御教え

三大迷信とは何か

何も彼も殆んど誤謬だらけであって、其謬とは大体左の如き、三つの大きなもので、それを今かいてみよう。

(一) 薬剤迷信 之に就ては私は常に充分解説してあるから、改めてかく必要はない位だが、第三者に知って貰いたいからかくのである。今日何人も病氣の場合、何よりも一番頼りにしているのは、勿論薬剤であるが、驚いてはいけない。之こそ実は人間の健康を弱らせ、病氣を作り、命まで危くするものであって、世に之程恐るべきものはないのである。それ程のものが今日迄何故気が付かなかつたかという疑問が、当然起らなければならぬ筈だが、それは全く薬剤迷信に深く陥っていたからである。

明主様御真筆 五六七

吾々の方からいえば、現在は成程形だけは確かに進歩した文明世界であるが、内容に至つては、真の文明とは到底言ひ得ないのである。それはどういふ訳かというところ、

吾々の方からいえば、現在は成程形だけは確かに進歩した文明世界であるが、内容に至つては、真の文明とは到底言ひ得ないのである。それはどういふ訳かというところ、

日世相がよく物語っているからである。それは全く根本的重点に誰も気が付かないからである。では何故気が付かないかという、ヤハリ一種の迷信に囚われていた為であつて、迷信とは勿論犯罪の原因である人間の魂を無視して来た事であつて、只単に表われた結果のみを対象として、それのみに腐心努力して来た誤りである。従つて本當に犯罪を無くすとしたら、人間の魂を改善させる以外、方法のない事は余りに分りきつた話である。処が其方法こそ宗教の力であつてみれば、当事者は此事に気が付き、それを基本として、犯罪没滅の方針に出なければならぬのである。此意味が心から分つたなら、何よりも先ず御自分が信仰に触れてみる事である。といつても今迄の宗教では先ず期待は出来まい。何となれば今日迄の処教育や道徳の方が、宗教より

も重用されて来た事にみても明かである。右の如き事情なるが為、止むなく法的刑罰主義の唯一の方便として行つて来た訳で、之も無理はなかつたのである。

之を要するに、既成宗教、道徳、教育等を合一した以上の、真に力ある宗教が出てこそ、犯罪のない理想社会が出現するのは勿論で、其宗教こそ我メシヤ教であるとしたら、一日も早く研究してみる事である。必ず私の言の偽りない事を知るであらう。

(栄一九)

初代会長 多田 光行

世の中の誰一人として 気が付かなかつた 薬剤・肥料・無神迷信

明主様は、現在の世の中において、最も大切なことで、しかも多くの人達が誤っていることのうちから三つを取り上げて下さつて「三大迷信とは何か」という御教えをお説き下さいました。

世間では「迷信」と申しますと、比較的小さな事柄を問題にされる場合が多いわけでございます。もちろん、そういう迷信も段々改めていかなければいけませんけれども、それよりも、む

以下2面へ続く

三つの迷信の根本に無神迷信

薬剂迷信

神様が造った人間の体 神様の御力によって 御救い頂け解決できる

1面からの続き

しろ世の中の誰しもが気が付かなかった大きな迷信として、ここに明主様は三つ挙げて下さったわけでございます。また、明主様は他の御論文で、この三つの根本にあるものとして、「無神迷信」、神様を認めない、神様を信じない迷信を挙げて下さっております。その無神迷信こそ、この三つの迷信の、もう一つ奥にある迷信になるわけですけれども、ここではその具体的な現れとして、この三つを挙げて下さっているわけでございます。

最初は「薬剂迷信」でございます。私共は今まで、私共の一番大切な命を脅かす病気を解決するものとして、またその命を救うものとして、薬剂に頼ってきたわけです。この薬剂によって、私共は病気の色々な症状、痛みで

あるとか、熱であるとか、そういう症状をなくしたり、あるいは軽減することはできたわけです。けれども、この薬剂によって、人間の命の問題そのものを根本から解決するということはできなかったわけですし、またこれはできないわけでございます。

これはいつも申し上げることですけれども、ある物が故障した場合に、その物を作った人、あるいはそれを作り得る能力のある方に修理をお願いすれば、修繕は可能なわけです。けれども、私共人間の体、あるいは人間そのものは、決してお薬だとか、そういうもので造られたわけでもありませんし、病院で造られたわけでもありません。人間の体は神様が造って下さったわけでございます。肉と骨と同時に、目に見えない靈魂を私共は頂いております。ですから、その人間のいわば修繕をしていただけるのは、私共人間の魂を造って下さった、また私共人間そのものを造って下さった神様の御力によって初めて根本的に解決していただくことができるわけでございます。

ところが、その神様の御力と申しますと、私共の目に見えない、あるいは手に触れることができないものでございます。ですから、私共は中々そういう神様の事が分からなかったり、それからまた、目に見えない力というところが頼りない感じがしたりするわけでございます。それでつい目に見える物、例えば薬剂だとか、あるいは手術などの医療の方に私共の関心がいつてしまったわけですね。その方法で、一時的な苦痛を解決、と申しますか、その苦痛をなくすことはできたかもしれませんが、けれども、命そのものを解決することは、結局できなかったわけですね。私共の命そのものは、神様の御力によって初めて御救い頂け、解決していただけということ、私共はしっかりと掴ませていただく必要があるわけでございます。

その次は「肥料迷信」でございます。神様は土に、人間あるいはその他の動物なども含まれますけれども、そういうものの命を保つために必要な食物を生産する役割を与えておられます。もちろん、いつも申し上げましたように、土には色々な役割があるわけですね。道路になる土もありますし、壁土になる土もございますし、あるいは焼物になる土もあるわけです。その中で、土の一番大きな役割として、人間などの食物を生産する役割を神様から与えられているわけですね。ですから、土にはその役割を果たすために、作物を生産する能力が与えられているわけですね。その土の働き、能力を十分に引き出してやるのが、明主様のお説きでございます。以前にも申し上げましたけれども、世間では最近「自然農法」という言葉が使われております。けれども、明主様の仰っておられる「自然農法」とはかなり違った意味で使われている場合が多いわけですね。

その次は「肥料迷信」でございます。神様は土に、人間あるいはその他の動物なども含まれますけれども、そういうものの命を保つために必要な食物を生産する役割を与えておられます。もちろん、いつも申し上げましたように、土には色々な役割があるわけですね。道路になる土もありますし、壁土になる土もございますし、あるいは焼物になる土もあるわけです。その中で、土の一番大きな役割として、人間などの食物を生産する役割を神様から与えられているわけですね。ですから、土にはその役割を果たすために、作物を生産する能力が与えられているわけですね。その土の働き、能力を十分に引き出してやるのが、明主様のお説きでございます。

この事は世間でも言われておりまして、「自然農法」とか「自然食品」という言葉は、現在あまりに色々な意味に使われているので、大変混沌として混

乱しているわけです。世間では、例えば化学肥料だとか、農薬を使わないというのを自然農法と言っておられる場合もありますけれども、明主様の仰っておられる「自然農法」は、土そのものの能力を十分に発揮させるということでございます。自然だからといって、ほったらかしておいて良いわけではないので、土の持っている能力を十分に発揮させることが、明主様の御教え下さっている「自然農法」です。土には、作物を育てる力があるわけですね。その場合に、例えば人間もそれその使命を果たすために、色々な能力を神様から与えていただいておりますけれども、その能力を十分に発揮するために、色々な訓練だとか練習を積んでいくわけですね。子供さんなども、色々練習したり、訓練して、段々その能力が十分に発揮できるようになっていくわけですね。ですから、いくら能力があるといっても、練習したり、訓練しなければ、その能力は発揮できないわけですね。それと同じように、土の場合も、ただほっておいたのでは、その土は能力を十分に発揮することができないわけですね。また、だからこそ、その能力を発揮することを妨害してはいけません。土が汚されていたのでは、十分にその能力が発揮されません。そこで、土を汚さないことが、その土の能力を十分に発揮させる一番根本的なこと、大切なことだと仰っておられるわけでございます。

そのように土を綺麗にして、その土の持っている能力を十分に発揮できるようにしてやれば、土は私共の健康を保つのに最も理想的な作物を生産してくれるわけですね。それを、なまじ人間が色々なことをやっちゃってしまつと、一見良いように見えても、結局それは人間の健康を保つのに必要な食物からは段々離れてしまつて、見掛け倒しの作物になってしまつてしまいます。しかし私共は、肥料迷信に陥り、肥料をやらなかったら生産できないとか、あるいは肥料をやつたらたくさんできるというふうになるわけですね。目先だけを見ると、その通りに出来ているように見えますけれども、長い目で見れば、本当に人間の生命を保つのに一番必要なのは、本当の意味の食物を生産すること、肥料や農薬ではできないわけですね。そういうことが、明主様の仰っておられる「肥料迷信」になるわけでございます。

この問題も、一日も早く世の中の方々が気が付いていかれませんか、結局この世の中から人間の命を保つに最も必要なのは、本当の意味の、真の食物が段々減つてしまつてしまつてしまつて、しかも現在の農法は、ご承知のように、いわゆる石油製品を非常に使いますから、資源の問題も絡んでくるわけですね。もし今の農法がドンドン世界的に広がって行けば、最後はそういう資源の問題にも突き当たつてしまつて、人間はこれから、それこそ何千年、

肥料迷信

土そのものの能力を 充分に発揮させること

それが健康を保つ自然農法

以下3面へ続く

2024年 地上天国祭



「地上天国創造へ使命を果たさせていただきましょう」とお話される会長先生



御祭り始めのご挨拶をされる会長先生

御讃歌を奉唱する信徒



法律迷信

社会秩序を保つため

一番の根本に魂の改善

魂を浄め向上しましょう

2面からの続き

何万年、何十万年か、さらにもっと長い時間、生命を保っていかなければいけないわけです。けれども、今のままでは大きな壁にぶつかってしまっています。その時のためにも、目先の事だけではなく、もっと大きい目で、肥料迷信ということに一日も早く気が付か

なければならぬわけです。この事を明主様は、私共に警告して下さいましたのでございます。

その次が「法律迷信」でございます。明主様も仰っておられますように、これは「前二者とは些か異いいます。もちろん、法律があつて初めて、私共は世の中から色々な犯罪がある程度防止できるわけです、そういう取

ることが必要になっていくわけですね。そうではないけれども、問題が残るに整備していきましても、問題が残るわけですね。なるほど人が見ている時には一応悪い事をしないけれども、人が見ていなければ、あるいは法律に引っ掛からないならば、他人が少しぐらい不幸せになるが、他人が苦しもう

が、自分だけ良ければ良いということになり、魂が浄まって向上していくことが必要になっていくわけですね。そうではないけれども、問題が残るに整備していきましても、問題が残るわけですね。なるほど人が見ている時には一応悪い事をしないけれども、人が見ていなければ、あるいは法律に引っ掛からないならば、他人が少しぐらい不幸せになるが、他人が苦しもう

り決めなければ、社会の秩序を保つことができないというところは申し上げるまでもありません。けれども、法律だけでも、この世の中から悪がなくなるかというところになりますと、これは大変疑問になってくるわけですね。結局、一番根本には、ここに明主様が仰つておられますように、「人間の魂」が改善されていく、魂が浄まって向上していく

になってしまふわけです。また、人によつては、法律の網の目を何とか潜り抜けることだけに関心がいつてしまつたりするわけです。結局、小悪人は、そういう法律で取り締まれるかもしれないけれども、大悪人は中々ならないわけですね。従いまして、一応、今は、秩序を保つために必要な法律はもちろん作つておかなければいけませんけれども、根本として、私共一人一人の魂が、そういう法律があるうがなろうが、皆一人一人がこの世の中のため、全ての人の幸せのために役立つということが大切だと思つていきたいと思います。

だいて初めて、この世の中から犯罪とか悪とかいうものがなくなつていくわけでございます。この魂ということ、せつかく良い法律を作つてみても、本當の解決にはならないわけですね。ここに先ほどお話ししました「薬劑迷信」「肥料迷信」「法律迷信」の三つの迷信に、私共は目覚めていき、さらにその奥にある「無神迷信」、結局神様がこの世におられないという迷信に目覚めなければ、この世の中にある、こういう三つの迷信も解決いたしませんし、こういう迷信から出てくるその他の色々な迷信も根本から解決することはできないのでございます。私共の非常に身近なことで、しかも一番大切なことで、この世の中の方々が、先ず気が付かせていただかなければいけないことを、ここで明主様はお説き下さつたわけだと思つています。

(二九八〇年九月三日)

先生お話し

神様から頂いている使命・役割を一生懸命果たさせて頂きましょう

地上天国祭は10月15日7時30分と10時30分の2回執り行われました。ご参拝の後、会長先生は「この半年間に賜りました多大なる御恩に對する感謝のお参りをさせていただきます」とお話し下さい、地上天国祭に関する御教え(総論編198頁)を拝読して下さいました。

そして、「五六七世界の建設(総論編198頁)」を拝読して下さい、今後の変化に對する心構え等について、次のようにお話し下さいました。「五六七世界、地上天国は神様中心の世界であり、日月

地・靈主体従の順序正しい世界、また善が勝つた世界と御教え下さつておられます。明主様の御教えの一番根本は、いよいよ地上天国建設の時が近付いたということであり、残念ながら全その人間が地上天国に渡していただくわけでは無いのでござい

ます。私達は地上天国に相應しい魂の人間にならなければいけません。自分の魂が神様の御心に近づいていくかを常に考えさせていたたかなければいけないと思つています。また、地上天国建設の前の汚穢な心が、地上天国に入るときに、それがその使命を果たさ

せていただくことによつて、地上天国が創造されていくわけでありませう。一人が100人の方をお導きさせていただきます。この一という目標を立てていただけてから1年が経つてまいりました。霊界の変化によつて私達はより動きやすくなると教えていただけております。大きな目標に向かってさらに努力させていただきます。一人でも多くの方が地上天国に御教頂かれますように、神様より頂いております御用をより真剣に、誠を持って取り組ませて

いただきますと存じます。

お蔭ご奉告



今庄浄霊センター
山田 弘美

息苦しくて眠れない

鼻炎の長男(当時小学2年生)

御浄霊をいただく

15分程経ったころ スーッと眠りにつく

半寝でしたが、15分程経った頃、息苦しさがなくなった長男がスーッと眠りにつきました。「神様が良くて下さったのですね」と教えて下さり、私にも御浄霊をして下さいました。私は何んか眩暈がするような不思議な感覚があり、御浄霊には何かがあるのではないかと頭を悩ませていた長男の娘に相談されました。

私は以前、病院で小さなお供を連れてセンターへご参拝させて頂いたことがあります。薬が効かなくなり、浄化で身体が楽になるのを聞いていたこと、御浄霊で眠りを取っていたこと、浄化の方のお話や体験をお聞きするたびに、御守様を頂いて自分でも御浄霊を試してみたいと思わされていたように感じました。

10日後の5月19日、北川支部にて故馬場孝子先生よりお教養頂き、主人と共に御守様をお許しを賜りました。その後、私の長男が鼻を掻き、知人家族が人懐っこいお許しを頂かれ、私共一家と共に数え切れない御守護を賜りました。

主人は狭心症や重度なる痛風のご浄化をいつも御浄霊で良くしていただきました(案外2日5日)。主人の母の腎臓結石を御守護賜りましたお陰は2019年12月5日の月例祭にて奉告させて頂いた

それからは、生後7か月の三男を連れてセンターへご参拝させて頂いたことがあります。薬が効かなくなり、浄化で身体が楽になるのを聞いていたこと、御浄霊で眠りを取っていたこと、浄化の方のお話や体験をお聞きするたびに、御守様を頂いて自分でも御浄霊を試してみたいと思わされていたように感じました。

10日後の5月19日、北川支部にて故馬場孝子先生よりお教養頂き、主人と共に御守様をお許しを賜りました。その後、私の長男が鼻を掻き、知人家族が人懐っこいお許しを頂かれ、私共一家と共に数え切れない御守護を賜りました。

主人は狭心症や重度なる痛風のご浄化をいつも御浄霊で良くしていただきました(案外2日5日)。主人の母の腎臓結石を御守護賜りましたお陰は2019年12月5日の月例祭にて奉告させて頂いた

半寝でしたが、15分程経った頃、息苦しさがなくなった長男がスーッと眠りにつきました。「神様が良くて下さったのですね」と教えて下さり、私にも御浄霊をして下さいました。私は何んか眩暈がするような不思議な感覚があり、御浄霊には何かがあるのではないかと頭を悩ませていた長男の娘に相談されました。

私は以前、病院で小さなお供を連れてセンターへご参拝させて頂いたことがあります。薬が効かなくなり、浄化で身体が楽になるのを聞いていたこと、御浄霊で眠りを取っていたこと、浄化の方のお話や体験をお聞きするたびに、御守様を頂いて自分でも御浄霊を試してみたいと思わされていたように感じました。

10日後の5月19日、北川支部にて故馬場孝子先生よりお教養頂き、主人と共に御守様をお許しを賜りました。その後、私の長男が鼻を掻き、知人家族が人懐っこいお許しを頂かれ、私共一家と共に数え切れない御守護を賜りました。

主人は狭心症や重度なる痛風のご浄化をいつも御浄霊で良くしていただきました(案外2日5日)。主人の母の腎臓結石を御守護賜りましたお陰は2019年12月5日の月例祭にて奉告させて頂いた

明主様、日々数々の御守護賜り誠にありがとうございます。この度、地下鉄駅前で御浄霊の御許しを頂き、心より感謝申し上げます。

また、3月20日は世帯入のお許しを賜り誠にありがとうございます。何の御恩もありません。お許しを頂き、心より感謝申し上げます。

10月4日(平成26年)4月、当時小学2年生の長男がスーッと眠りにつきました。お陰様で、お許しを頂き、心より感謝申し上げます。

10月4日(平成26年)4月、当時小学2年生の長男がスーッと眠りにつきました。お陰様で、お許しを頂き、心より感謝申し上げます。

股関節が弱い孫 2歳頃には しっかりと歩く

次に話は前後しますが、私の孫の御浄化を頂くさせて頂いたことがあります。この御浄化をきっかけにセンターでご奉仕のお許しを頂きました。

2008年8月初め、私の

私に賜った御守護

腕全体が熱く 両手にガーゼ 湿疹が体中に

湿疹はだんだん広がって自分の都合の良いように手や腕の甲、足にも赤いぶつぶつが出始め、同僚達からは医師が行くのを強勧められました。移らないうちに配もあつたのでした。

会社での仕事はクリンルームに入るともあり、この状態でも動くのは無理かも知れないと思い、丸山先生にご相談して診断書を出したため病院で診てもらうことになりました。湿疹は腕から足までひっきりと、腕全体がじんじん熱く、顔と足の裏以外の身体が繁殖してなることで、他の人には移らないということでした。医師には薬を塗ればすぐに治ると言われましたが、治療はお断りしました。

治療しなければ診断書は書けないと言われましたが、何とかお願いして10日の通院を要すとお願いいたしました。

会社は病状を報告し、出社できなくなるほどの様子を見て連絡させていただきました。センターに戻り、御神前に御守護のお許しをさせて頂いたことになりました。今までの信仰は、丸山先生は「ボディッシュンパーは誘いになったので、これだけのものが出ようとしていたのですよ。湿疹のご浄化は長くかかるかも知れませんが、今、薬毒を出していたのでありがたいです。」とお話下さいました。

次の日より毎日8時から午前中は、センターにご参拝し、御浄霊を頂き御守護を拜読させていただきました。湿疹は腕から足までひっきりと、腕全体がじんじん熱く、顔と足の裏以外の身体が繁殖してなることで、他の人には移らないということでした。医師には薬を塗ればすぐに治ると言われましたが、治療はお断りしました。

治療しなければ診断書は書けないと言われましたが、何とかお願いして10日の通院を要すとお願いいたしました。

会社は病状を報告し、出社できなくなるほどの様子を見て連絡させていただきました。センターに戻り、御神前に御守護のお許しをさせて頂いたことになりました。今までの信仰は、丸山先生は「ボディッシュンパーは誘いになったので、これだけのものが出ようとしていたのですよ。湿疹のご浄化は長くかかるかも知れませんが、今、薬毒を出していたのでありがたいです。」とお話下さいました。

腕の甲の関節部に湿疹が出始め、お盆の日に新しいボディッシュンパーを使用すると、腕や身体に少しずつ湿疹が出てきました。センターで御浄霊のお取次ぎをしていただき、丸山先生は「ボディッシュンパーは誘いになったので、これだけのものが出ようとしていたのですよ。湿疹のご浄化は長くかかるかも知れませんが、今、薬毒を出していたのでありがたいです。」とお話下さいました。

次の日より毎日8時から午前中は、センターにご参拝し、御浄霊を頂き御守護を拜読させていただきました。湿疹は腕から足までひっきりと、腕全体がじんじん熱く、顔と足の裏以外の身体が繁殖してなることで、他の人には移らないということでした。医師には薬を塗ればすぐに治ると言われましたが、治療はお断りしました。

治療しなければ診断書は書けないと言われましたが、何とかお願いして10日の通院を要すとお願いいたしました。

会社は病状を報告し、出社できなくなるほどの様子を見て連絡させていただきました。センターに戻り、御神前に御守護のお許しをさせて頂いたことになりました。今までの信仰は、丸山先生は「ボディッシュンパーは誘いになったので、これだけのものが出ようとしていたのですよ。湿疹のご浄化は長くかかるかも知れませんが、今、薬毒を出していたのでありがたいです。」とお話下さいました。

汁が出て血がにじむ さすっただけでも 会社を退職

御教えを何度も拝読
神様中心の
信仰と御用の
お許しをお願い

以下5面へ続く

4面からの続き
い」と厳しく仰いました。
その当時、私は仕事が楽し
くなってきていた時で、心の
中では会社は辞めたくない気
持ちでいっぱいでした。しか
し、今まで多くの御守護を頂
き、センターで御用に使って
いたことを思い出し心から勇
いてきておりました。主人や
子供達も神様を信じて付いて
来られておられます。いい
加減な気持ちのままではい
ないと思ひ、主人と相談して
8月末に退職いたしました。
センター御用にて、神様中
心に御用させていただきました。
後御用の御許しを頂けませ
うお願い申し上げます。
直後の祭典であった10月3
日の教会月例祭にご参拝させ
ていただいた輔りには、不忠
も一段落させていたためよ

直後の祭典に参拝した帰り

身体が軽く感じ 楽に寝返りが できるように

「身体が軽く感じられ、夜うになりまし。ご浄化以
降、毎日センターに通わせて
頂けました。お陰様で12月3日の
教会月例祭の頃には、すっか
り長くなっていました。此細
なご指導頂いておりましたの
で、当初は「どうなるだろう
と心細くなりましたが、丸山
先生のご指導の下、教会行事
も学ばせていただきました。
またその後、フラグマチス
△を拝読していただきました。
日常生活に
明主様への信仰を採り入れ
一つの行動に誠を

2024年 夏期学生錬成会



会長先生ご講義

日常生活に 明主様への 信仰を採り入れ 一つの行動に誠を



2024年7月28日に夏期
学生錬成会のお許しを頂き、
計38名の方が参加のお許しを
頂けました。午前8時40
分、黎明ホールにてご参拝さ
せていただき、会長先生より
御浄霊を頂きました。その
後、会長先生よりご講義頂
きました。
会長先生のご講義では
「新人たれ」を拝読しては
だました。人、特に信仰者
は常に進歩向上の道ま
よき努めなければならず、表
面ではなく人格の向上を心掛
け、焦らず気長に進んでいく
ことで立派な人間になれると
ご教示頂きました。また拝読
や御浄霊、御用の一回一回に
対し、毎回同じようなことを
繰り返すのではなく真の在り方
に近付かせていただけたよう
に努めなければならぬこと

も学ばせていただきました。
またその後、フラグマチス
△を拝読していただきました。
日常生活に
明主様への信仰を採り入れ
一つの行動に誠を
御浄霊を頂きました。その
後、会長先生よりご講義頂
きました。
寺岡先生より体験講義を頂
きました。学生の頃から体験
されたことについてお話し頂
きました。お伝え、ご布教活動
についてお話し、神様中心
の生活を送らせていただくこ
とによって、素晴らしい奇蹟
を頂けていたというこ
とを学ばせていただきました。
小林先生より自然療法につ
いてご講義頂きました。まず
初めに、「土について」を拝
読していただき、土は神様が
人を造るために作物を生産
すべく造られたものであるこ
とを学ばせていただきました。
また「人間の愛の熱」が

非常に影響すること、作物を
生産するにおいても誠を持っ
て生きていくことが大切
なことであることを教えていた
きました。
昼食後、津田御介様より信
仰への姿勢について体験講義
を頂きました(6面参照)。
その後大谷大紀さん(7面
参照)と伊吹誠彦さん(次頁
掲載)の2名の方が体験発表
のお許しをいただきました。
その後、各班に分かれて座
談会を持たせていただきました。
座談会では、ご講義の感
想や最近頂いた御守護を共有
させていただきました。ま
た、お伝えお取次ぎや御神書
拝読の近況について話で話
し合わせていただきました。
最後に会長先生よりまとめ
の講義を頂きました。また、
講義を最初に「地上天国論
一巻」より、社会は個人
から成り立ち言葉や行動も美



「浄霊お取り次ぎ
にあたって」を拝
読していただき、
神様にお願ひする
こと、力を抜くこ
と、楽な気持ちで
御浄霊をさせてい
ただくことが大切
なことであることを改
めてご教示頂きま
した。
今回学ばせてい
ただいたことを実
践し、各々で決意
されたことを分か
り合ってもらえよ
う、日々努力、向上さ
せていただきます。
明主様、ありがとうございます
会長先生、諸先生方、貴重
なご講義をありがとうございました。
(大谷 大紀)

の信徒皆祭司の気持ちを集結
して、信仰の場を与えていた
だき地上天国建設のために御
用頂いたこと大変ありがた
いことでした。このような時
明に、御用に導いていただ
なことは本当にありがたい
わせていただきます。
丸山先生が御浄霊お取次ぎ
に出かける時には、お供させ
ていただき学ぶ機会を与えて
いただきました。先生の叱咤
激励のおかげで、現在があり
ますこと心より感謝致してお
ります。
センター長代理であられた
加藤尚子様が昨年帰国され、
1年余りが経ちました。些細
なことでも加藤様に相談して
ご指導頂いておりましたの
で、当初は「どうなるだろう
と心細くなりましたが、丸山
先生のご指導の下、教会行事
も学ばせていただきました。
またその後、フラグマチス
△を拝読していただきました。
日常生活に
明主様への信仰を採り入れ
一つの行動に誠を
御浄霊を頂きました。その
後、会長先生よりご講義頂
きました。
寺岡先生より体験講義を頂
きました。学生の頃から体験
されたことについてお話し頂
きました。お伝え、ご布教活動
についてお話し、神様中心
の生活を送らせていただくこ
とによって、素晴らしい奇蹟
を頂けていたというこ
とを学ばせていただきました。
小林先生より自然療法につ
いてご講義頂きました。まず
初めに、「土について」を拝
読していただき、土は神様が
人を造るために作物を生産
すべく造られたものであるこ
とを学ばせていただきました。
また「人間の愛の熱」が

世話人のお許し頂く

丸山先生のよう に 神様中心に 物事を考え 魂の向上に 努めたい

明主様、多大なる御守護に
感謝申し上げます。
会長先生、いつも優しくご
指導頂きありがとうございます。
指導頂きありがとうございます。
今後とも宜しくお願い申
上げます。
丸山先生、お聞き頂きまし
ました。その後、
「浄霊お取り次ぎ
にあたって」を拝
読していただき、
神様にお願ひする
こと、力を抜くこ
と、楽な気持ちで
御浄霊をさせてい
ただくことが大切
なことであることを改
めてご教示頂きま
した。
今回学ばせてい
ただいたことを実
践し、各々で決意
されたことを分か
り合ってもらえよ
う、日々努力、向上さ
せていただきます。
明主様、ありがとうございます
会長先生、諸先生方、貴重
なご講義をありがとうございました。
(大谷 大紀)

家族の大きなご浄化を通して 学ばせていただいたこと

(前略)今回は「家族の大きなご浄化を通して学ばせていただいたこと」として過去に私が御託をさせて頂いたことについてお話しさせていただきます。

私の母は、私が中学生になる前頃からご浄化を頂き、段段的に家から出て出られないような状態になっていきました(聖明さまも同様)。

母の浄化の主な症状は貧血でした。最も浄化が激しい時は家の隅の隅まで行くことが出来ず、1階の間に布団を敷いて生活していましたが、また咳も頻発していました。咳のしどろで嘔吐することもありました。奥色の悪い時は鼻下と顔になるとか、止まらなくなりました。休むこともありませんでした。浄化の初期は自身で車を運転して教会や支部へご参拝はしていたように思います。貧血の状態が、関節の一部が光って見えなくなるとか、髪が光って見えなくなるとかになり急激な形で、車の運転は出来なくなりました。

講義ノート



北白川支部
津田 僚介

父がいました。何とか前を賣して家の中に連れていき、家族の代わりになる御託のお取次ぎをさせて頂いたことになりました。痛みは程々な感じが曲がらない状態になってしまいました。一人で立ち上がるのも大変な様子でした。そんな状態で、父が代わりに多くのお祈りをさせて頂き、私達兄妹のお祈りもさせて頂いてくれていました。

父が大学生の頃、父が自宅玄関先に七転脚し五膝を進行し、全く動かさなくなるとか、浄化を頂きました。正体不明の腰痛が、父が代わりにお祈りをしてくださいました。父が代わりにお祈りをしてくださいました。父が代わりにお祈りをしてくださいました。

父が代わりにお祈りをしてくださいました。父が代わりにお祈りをしてくださいました。父が代わりにお祈りをしてくださいました。

父が代わりにお祈りをしてくださいました。父が代わりにお祈りをしてくださいました。父が代わりにお祈りをしてくださいました。

父が代わりにお祈りをしてくださいました。父が代わりにお祈りをしてくださいました。父が代わりにお祈りをしてくださいました。

父が代わりにお祈りをしてくださいました。父が代わりにお祈りをしてくださいました。父が代わりにお祈りをしてくださいました。

父が代わりにお祈りをしてくださいました。父が代わりにお祈りをしてくださいました。父が代わりにお祈りをしてくださいました。

父が代わりにお祈りをしてくださいました。父が代わりにお祈りをしてくださいました。父が代わりにお祈りをしてくださいました。

父が代わりにお祈りをしてくださいました。父が代わりにお祈りをしてくださいました。父が代わりにお祈りをしてくださいました。

父が代わりにお祈りをしてくださいました。父が代わりにお祈りをしてくださいました。父が代わりにお祈りをしてくださいました。

父が代わりにお祈りをしてくださいました。父が代わりにお祈りをしてくださいました。父が代わりにお祈りをしてくださいました。

父が代わりにお祈りをしてくださいました。父が代わりにお祈りをしてくださいました。父が代わりにお祈りをしてくださいました。

父が代わりにお祈りをしてくださいました。父が代わりにお祈りをしてくださいました。父が代わりにお祈りをしてくださいました。

父が代わりにお祈りをしてくださいました。父が代わりにお祈りをしてくださいました。父が代わりにお祈りをしてくださいました。

貧血の母の浄化は10年以上 現在は良くしていただき 御用のお許しも頂く

家族全員が執着せず 神様にお任せする

母自身を含め 不安や心配を 覚えることなく 御用を通して頂ける 御守護のありがたさ

感謝の気持ちをもって 御用を一生懸命に

頃から、母が浄化のためにお祈り頂けなくなったタイミンクをほぼ同時期で、ちょうど入れ替わりに私が御用のお許しを頂けるようになり、母も喜んでくれていました。

私は自身が生まれる前より両親が人信のお許しを頂いておりましたので、小さい時から御託を頂き、大きな怪我や病気も無く、風邪などの浄化を頂いても一晩で良くなっていくことがほとんどでした。幼い頃はそれが当たり前だと思っており、教会のご参拝や勉強会の参加など最低限の事しかさせていただけませんでした。

また就職活動においても大変御守護頂き、なかなか就職先が決まらなかった中でもお参拝のおかげで、悩みに悩んでお参拝し、悩みがなくなったことにはあまりありませんでした。それは、御教を勉強させていたこと、御用に取り組ませていただいたこと、就活の事だけに囚われることなく結果として精神的に楽にさせていただいたのだと思います。

また、父の怪我も一時は大変な状態ではあったものの、振り返ってみるとあの怪我があったから両親とそれまで以上に教会や支部へご参拝させていたことになり、御託の御光をたくさん頂くことが出来たのだと思います。いずれも、最も良いタイミングで家族に浄化作用をお与え頂けたのだと思います。

栗田会長先生は、母がご浄化を頂くことをお許し申し上げます。(2024年7月28日)

普段から御浄霊お取次ぎ 親しいMさんをお連れする 教会にお連れする

御浄霊の感想聞くと

心地良かった 背中熱くなる

がしに力を 許すに努力 およぶ一層 のるより 信入 頂より

「最初はどんな所か想像がつかなくて抵抗があったけれど、すごく落ち着いた感じがあって、心地良かった」と仰っていました。また御浄霊を頂いた時の感想をお聞きしてみると、「とても背中が熱くなった」と、御浄霊の効果を実感しておられました。

5月25日、お教修日にMさんを教会にお連れし会長先生からご講義頂きました。お教修とは入信された方が参加される行事だと思っていたのですが、会長先生から「お話を聞かなくても結構です」と

「今日はMさん、25日にお教修というのがあるから、教会の会長先生という方から御浄霊や教会の事をとても分かりやすく教えていただけただけで、行ってみたい」とMさんに尋ねてみたところ、「分かった。行ってみたい」との返事を頂き、急遽参加させていただくことになりました。

当日、お教修が始まる前までは緊張している様子でしたが、始まってからはかなりリラックスした様子でした。お教修の感想をお聞きしてみたところ、「全く分からなかった」と仰っていました。その事を後日、会長先生にお話したところ、「今は分からなくても、これから教会にお連れする事で、分かるとは思います」と

「今日、お教修が始まる前までは緊張している様子でしたが、始まってからはかなりリラックスした様子でした。お教修の感想をお聞きしてみたところ、「全く分からなかった」と仰っていました。その事を後日、会長先生にお話したところ、「今は分からなくても、これから教会にお連れする事で、分かるとは思います」と

「今日、お教修が始まる前までは緊張している様子でしたが、始まってからはかなりリラックスした様子でした。お教修の感想をお聞きしてみたところ、「全く分からなかった」と仰っていました。その事を後日、会長先生にお話したところ、「今は分からなくても、これから教会にお連れする事で、分かるとは思います」と

私の信仰姿勢について 向上がで 自分に不 満持 ないつ

では、宿伯での教会員検査や小中学生勉強会のお世話係の御用も頂いております。しかしここ最近、学生課成会や学生・高中三年の会で自分の役割を覚えることができず、他の人と比べて気が散っていたことが少なく、なかなか向上できない自分と不満を持っていました。また私と同じ時期に係の御用を頂いた方とも徐々に差が開いていくように感じ、焦りが湧いていました。毎月献金もさせて頂いてきたり、お返事をされたので、こちらも急ぎでありましたが、ご参拝させて頂いたことになりました。

当日は、Mさんが思っていたよりも多くの方がご参拝されていたため少し驚かされたのですが、特に問題なくご参拝させて頂いたことが出来ました。

5月のある日、会長先生にお時間を頂き悩んでいることを話しましたが、Mさん自身もまだ御浄霊の御力や教会の事を完全に信じられていないわけではないので、これからも教会にお連れし、最終的にMさん自身が入信のお祈りが頂けるよう、私も私自身、お伝えお取次ぎや御用により一層努力させて頂きたいと思っています。

次に私の信仰姿勢における心境の変化についてお話しさせていただきます。

私と呼んでよく話してやうた。私の話は斯ういう訳です。最初の、家庭が困らない様にするという事も合っている。確かにそれに違いない。それから、神様はお金は沢山必要だから、はやく地上天国を造って救わなければならぬので、どんなことをしても金をあげなければならぬ。どんなに苦しんでもあげなければならぬ、という事も合っている。両方も合っているんだ。只大乗と小乗だ。最初の方は小乗的考え方です。後の方は大乗的考え方です。じゃ、後の方は金をあげて苦しむかという、決して苦しくない。金をあげたら苦しむ様な神様だったら拝むのを止めたい。だから試しにあげて御覧なさい。苦しむ様になって御覧なさい。苦しむ様になって来ます。苦しむ様になって来ます。大変な金にだぶつて来る。『教目 昭和7年6月7日』と御教書頂いており、今までの私の献金に対する考え方も変えていたことになりました。

がしに力を 許すに努力 およぶ一層 のるより 信入 頂より

「最初はどんな所か想像がつかなくて抵抗があったけれど、すごく落ち着いた感じがあって、心地良かった」と仰っていました。また御浄霊を頂いた時の感想をお聞きしてみると、「とても背中が熱くなった」と、御浄霊の効果を実感しておられました。

5月25日、お教修日にMさんを教会にお連れし会長先生からご講義頂きました。お教修とは入信された方が参加される行事だと思っていたのですが、会長先生から「お話を聞かなくても結構です」と

「今日はMさん、25日にお教修というのがあるから、教会の会長先生という方から御浄霊や教会の事をとても分かりやすく教えていただけただけで、行ってみたい」とMさんに尋ねてみたところ、「分かった。行ってみたい」との返事を頂き、急遽参加させていただくことになりました。

当日、お教修が始まる前までは緊張している様子でしたが、始まってからはかなりリラックスした様子でした。お教修の感想をお聞きしてみたところ、「全く分からなかった」と仰っていました。その事を後日、会長先生にお話したところ、「今は分からなくても、これから教会にお連れする事で、分かるとは思います」と

「今日、お教修が始まる前までは緊張している様子でしたが、始まってからはかなりリラックスした様子でした。お教修の感想をお聞きしてみたところ、「全く分からなかった」と仰っていました。その事を後日、会長先生にお話したところ、「今は分からなくても、これから教会にお連れする事で、分かるとは思います」と

「今日、お教修が始まる前までは緊張している様子でしたが、始まってからはかなりリラックスした様子でした。お教修の感想をお聞きしてみたところ、「全く分からなかった」と仰っていました。その事を後日、会長先生にお話したところ、「今は分からなくても、これから教会にお連れする事で、分かるとは思います」と

私と呼んでよく話してやうた。私の話は斯ういう訳です。最初の、家庭が困らない様にするという事も合っている。確かにそれに違いない。それから、神様はお金は沢山必要だから、はやく地上天国を造って救わなければならぬので、どんなことをしても金をあげなければならぬ。どんなに苦しんでもあげなければならぬ、という事も合っている。両方も合っているんだ。只大乗と小乗だ。最初の方は小乗的考え方です。後の方は大乗的考え方です。じゃ、後の方は金をあげて苦しむかという、決して苦しくない。金をあげたら苦しむ様な神様だったら拝むのを止めたい。だから試しにあげて御覧なさい。苦しむ様になって御覧なさい。苦しむ様になって来ます。苦しむ様になって来ます。大変な金にだぶつて来る。『教目 昭和7年6月7日』と御教書頂いており、今までの私の献金に対する考え方も変えていたことになりました。

お蔭ご奉告



大谷 太紀

今庄浄霊センター
「私はいつもお祈りさせていただきます。何か快く承諾はしていませんが、お祈りにはいつもお祈りさせていただきます。何か快く承諾はしていませんが、お祈りにはいつもお祈りさせていただきます。」

「今日はMさん、25日にお教修というのがあるから、教会の会長先生という方から御浄霊や教会の事をとても分かりやすく教えていただけただけで、行ってみたい」とMさんに尋ねてみたところ、「分かった。行ってみたい」との返事を頂き、急遽参加させていただくことになりました。

当日、お教修が始まる前までは緊張している様子でしたが、始まってからはかなりリラックスした様子でした。お教修の感想をお聞きしてみたところ、「全く分からなかった」と仰っていました。その事を後日、会長先生にお話したところ、「今は分からなくても、これから教会にお連れする事で、分かるとは思います」と

「今日、お教修が始まる前までは緊張している様子でしたが、始まってからはかなりリラックスした様子でした。お教修の感想をお聞きしてみたところ、「全く分からなかった」と仰っていました。その事を後日、会長先生にお話したところ、「今は分からなくても、これから教会にお連れする事で、分かるとは思います」と

「今日、お教修が始まる前までは緊張している様子でしたが、始まってからはかなりリラックスした様子でした。お教修の感想をお聞きしてみたところ、「全く分からなかった」と仰っていました。その事を後日、会長先生にお話したところ、「今は分からなくても、これから教会にお連れする事で、分かるとは思います」と

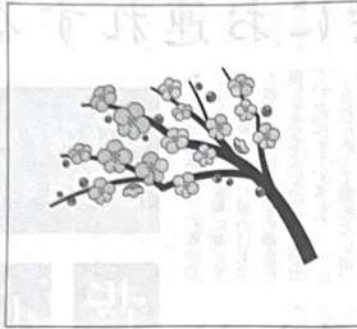
「今日、お教修が始まる前までは緊張している様子でしたが、始まってからはかなりリラックスした様子でした。お教修の感想をお聞きしてみたところ、「全く分からなかった」と仰っていました。その事を後日、会長先生にお話したところ、「今は分からなくても、これから教会にお連れする事で、分かるとは思います」と

私と呼んでよく話してやうた。私の話は斯ういう訳です。最初の、家庭が困らない様にするという事も合っている。確かにそれに違いない。それから、神様はお金は沢山必要だから、はやく地上天国を造って救わなければならぬので、どんなことをしても金をあげなければならぬ。どんなに苦しんでもあげなければならぬ、という事も合っている。両方も合っているんだ。只大乗と小乗だ。最初の方は小乗的考え方です。後の方は大乗的考え方です。じゃ、後の方は金をあげて苦しむかという、決して苦しくない。金をあげたら苦しむ様な神様だったら拝むのを止めたい。だから試しにあげて御覧なさい。苦しむ様になって御覧なさい。苦しむ様になって来ます。苦しむ様になって来ます。大変な金にだぶつて来る。『教目 昭和7年6月7日』と御教書頂いており、今までの私の献金に対する考え方も変えていたことになりました。

2024年7月20日

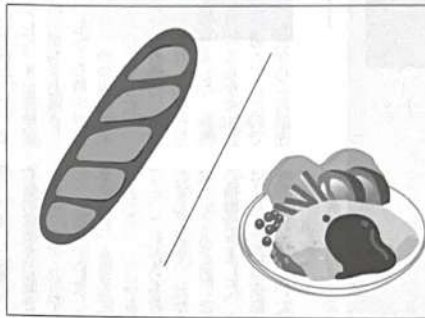
れいめい俳壇

◇…2024年3月選句…◇



ミモザ咲く風は黄色に輝いて
エナメルの靴の響き弥生来る
剪定や今月の生りの見せ所
如月や庭掃く朝の音軽し
卒業や末子の明日を過ぎて
大の字に人の並ぶや山笑ふ
頼ゆるめ微笑み弾む受験生
春雨の雫はとぼと今日一日
何気ない笑みが笑み呼ぶ春の駅
白梅の生き生き咲かむ無の言葉
佐助の今朝の一輪師の元へ
魔校の選挙会場梅白し
紙雛に紙のお道具紙の菓子
お返しは日本の文化ホワイトデー
堪焼く空へまっすぐ立ちのぼる
其処此処に水つとひひふ春の川
春一番かける子供と競ひ合ふ
神前を香りのつつも梅真白
走り根の陰々として春を待つ
雪置やカフエにて遊ぶ春ひと日
啓蒙や一気に語る人見知り
紅梅やうちに秘めたる処世術
亡節の笑みや春の四色ボールペン
立春の舞を廻す雨静か
春雨や又トタン打つ寝入りばな
春風の高きこまかな春一番
一日の目標確と木の芽時
母と子のやることリスト春休み
掛け時計の時刻を合はす春立つ日
春の朝今日の気分はフランスパン

多田 光子
小林 正幸
栗田 多津
荒木加代子
成富 雅子
五條 直美
吉岡 知子
中島三壽子
鈴木てるよ
中岩紀美子
平田 恭子
寺岡 直美
中島トモ子
下平みのり
家田 由実



てきばと仕事の進む春ひと日
歳忘れ浮き浮き気分離祭り
春うらら猫にもらひし大久伸
のんびりと気ままに春のこだま号
湯沸器指定席とす春の猫
名を呼べば片耳ヒクリ春の猫
日めくりを三日まとめて二月果つ
立春や身なりを正す今日ひと日
夫婦微笑顔の絶えぬ集ひかな
耳遠き母へ差し出す遠餅
数冊の本を持ち合ふ一日春うらら
口タン像と向き合ふ一日春うらら
水色の洋館カフエや春の空
春光や露天湯よりの青き富士
バトカーの洗車日和や春うらら
啓蒙やふわたと包むオムライス
春風に吹かれ川辺の鳥のこゑ
読への濃紺スーツ春ひと日
賑々しさの増す子の背中卒業式
春ひとりと幕前に雀二羽三羽
チェンソーのどか荒き毛筆の木彫象
春日和キッちゃんカーに長い列
春愁の人事異動や大荷物
節分の屋台が並ぶ時計台
ひな祭りお店に並ぶ飾り付け
切干や僕の触感シヤキッと和
登校や手袋の手をポケットへ

野口利恵子
丸田 信宏
西田 貢造
小林 光恵
田辺 嘉子
白木由見子
辻 量子
林 唯葉
高橋由起子
西尾 美喜
松本美恵子
上村 公美
小林 舞桜
家田 建郎

若草の会
大試験長く短き一時間
寄り道は思ひの儘に春近し
やお立ち二礼二拍手春の式
熊穴を出つ学生の休講日
春光に大小の影遊をり
晴天を脇役とし梅紅し
ツロソンの大なる恵み春の雨
旅立ちの離陸の音やごり雪
三月の児等のしくさや大人びる
玉無しの自転車デビュー水温む
冴返る行き交ふ人の足早に
佐保姫の葉の気まぐれ城南宮

多田 光史
栗田 光恒
栗田 光均
栗田 光志
多田 如音
高橋 和

鯉一枚箸の止まらぬ三歳児
遊樂花ひとり際立つ荒花壇
一日の出逢いに感謝春の虹
春夕焼煎らす大地に考の遺志
リビングはおもちゃの海や春寒し
肩こりの程度で測る春の距離
充電は10%冴返る
雪形や「雪が溶けたら何になる？」
瞑想の迷路に入る春一番
夢抱く太平洋の水温む
叱られて涙のふたり卒業式
残雪の裏道を行く別世界

松村 遥
伊吹 博人
松村 勇輝
伊吹 美都
伊吹 誠彦
松村 恒志

◇…2024年4月選句…◇



花ひとひらオーガンジの翻る
ふんはりと東の空に四月来る
内業の増えて進まぬ春の農
春耕や動き出したる酸化鉄
鳴り止まぬ感謝の拍手春の宵
花万葉寿の父の弾むこゑ
それぞれの進路へ夢を卒業式
何語とは知らず打ち解け春の旅
沈丁の香の一日花三分
解体の音の一日花三分
カフエオレと手作りクッキー花の昼
みどり児の夢に頬笑む花ミモザ
お目当ての花見の客やキッちゃんカー
香も色も味の内なり桜餅
電線の雀の群れや春の空

多田 光子
小林 正幸
栗田 多津
荒木加代子
成富 雅子
高橋 和

高台の畑より通か春霞
春雨の松本平うるはせり
新しき息吹を感ず四月なり
旅立ちの試練の迫る春寒し
雪柳つぼみつく日の待遠し
響かない困き結びめ春の間
囁りや居場所知りたき母のこゑ
竜天に登る仕掛けは謎のまま
指揮棒に光を集め飛花落花
初蝶にけふも良き日と教へられ
相傘の小さき傘や春の雨
遠処知らず知らずの眠りかな
夜飯や暗黒といふ夜を知らず
次男坊の破天荒ぶ山笑ふ
子供らの不実行風光る

鈴木てるよ
中岩紀美子
平田 恭子
寺岡 直美
森 ユカリ
中島トモ子
下平みのり

見下ろすも見上げるもよし花枝垂る 家田 由実
清掃の女子の手に持つ花ミモザ
春の日の親子の散歩春うらら
春の心地好きかな舟を漕ぐ
答ふより問ひの力を新人生
卒業式自力で作る最通解
たんぼと隣合わせの小休止
草餅や山の恵みに山思う
花万葉集のばす中学生
花の昼それぞれに良き通知票
待ちかねて早や桜咲く誕生日
雨上り白木蓮の遺々しきよ
三月や元気な声の露天商
春炬燵と語りふ夫の事
門掃きの塵も光るか花は葉に
飛花落花砂場に光るコントラスト
風船や子らの手と手とつなく空
人の世の儂さ白きミモザ咲く
この道を二人で歩く桜の夜
おもてなしまでと三日花三分
はとほどにさばを読む舞万應節
花ぐもり思ひ過こしも恋のうち
再会の街の喫茶や花の窓
東西の勝負持ち越し桜餅
定まらぬ旅のプランや春の星
初音聴く再びスタートの一本かな
今日聴くか明日は咲くかな我が桜
それぞれ生き様を持ち桜人
春場所や新人幕の優勝ど
新しきラケットを買い春動く

若草の会

家田 由実
野口利恵子
丸田 信宏
西田 貢造
小林 光恵
田辺 嘉子
白木由見子
松田 博信
松田 博信
林 唯葉
辻 量子
高橋由起子
西尾 美喜
松本美恵子
上村 公美
家田 建郎
多田 光史
栗田 光恒
多田 如音
高橋 和
松村 遥
伊吹 博人
松村 勇輝
伊吹 美都
松村 恒志